傳設計ニュースレター
令和3年4月 発行（38号）

傳設計ニュースレター

CONTENTS

◆今、傳えたいこと
～文化財の復旧と熊本地震～

◆もうすぐ完成！

◆博多国際展示場＆
カンファレンスセンター

◆本妙寺仁王門補強計画

◆パソコン？いいえ違います
建設業界のPCとは
～株式会社ピーエス三菱様 ～

◆傳設計ランチの変遷

◆舞鶴探訪（8）

◆社員名鑑



今、傳えたいこと ～文化財の復旧と熊本地震～

春ですね、ようやく暖かくなってきました。弊社にも4名の新入社員が入社してきました。今年はコロナ禍で、就職活動にも影響が出てくるのでしょうか。しかしながら、新型コロナウイルス対策のため、会社説明会や面接をWeb会議システムで行う会社も多く、学生さんにとっては多くの会社と接触できる機会が増え、例年に比べ就職活動が有利であるとも聞きます。学生の皆さん、頑張ってください。

さて、「ヘリテージマネージャー」という言葉をご存知でしょうか。この言葉は、地域歴史文化遺産保全活用推進員のことであり、歴史文化遺産の保全活用の手法を習得し、その能力を生かし保全、活用して地域づくりに貢献する活動を行う人をいいます。私もヘリテージマネージャー養成講習会を修了し、ヘリテージマネージャーとして登録されています。



★講習会テキストとレポート★

皆様の記憶に新しい平成28年熊本地震では、多くの文化財が被災しました。被災文化財には、指定文化財及び登録有形文化財、未指定であるが歴史的価値が高い建造物(以下「未指定建造物」という)がありました。国の指定文化財については文化庁、地方自治体の指定文化財については地方自治体によって早期に対応されましたが、未指定建造物は数も多く、所在や被害状況の把握も困難でした。そのため文化庁が地方自治体、文化財関係団体等と協力し、「文化財ドクター派遣事業」が行われ、ヘリテージマネージャー等が未指定建造物を含む文化財の被災状況調査を行い、応急措置、復旧方法の提案など技術的支援を行いました。私もこの事業に参加し、10棟の建造物の調査を行いました。被災した文化財の復旧は容易ではありません。しかし、文化財の歴史的価値を損なわないよう保全し、復旧することは重要なことです。また、災害による文化財の被害を最小限にするには、事前対策も重要となってきます。

このような経緯もあってかご縁があり、別頁にも記載のとおり現在、熊本地震で被災した登録有形文化財の本妙寺仁王門復旧工事に携わっております。登録有形文化財は指定文化財と違い、基本的に補助金はなく、所有者の負担も大きいです。上述のように歴史的価値を損なわぬよう復旧を進めることも重要ですが、登録有形文化財の場合、コストとのバランスを見ながら検討することも大事だと考えております。（代表取締役 岩本 茂美）

岩 本　茂 美（いわもと しげみ）

株式会社傳設計 代表取締役

≪最近のこと≫

以前より、この先インフレ時代がやってくるという報道を見かけます。最近あながち間違っていないのではと思います。インフレになると貨幣価値は下がるので、株や不動産へ投資するべきかと。最近は株投資を頑張っており、取引開始9時と終了15時前はそわそわ（笑）。嘘です。ちゃんと仕事していますよ。



傳設計 設計業務 NEW&HOT TOPIX

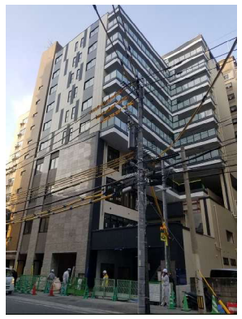
★もうすぐ完成！★

こんにちは。設計部の藤田です。今回は博多駅前４丁目で工事を進めておりました「(仮称)白水ビル新築工事」(１～４階オフィステナント、５～１１階ファミリー向け賃貸共同住宅、鉄骨造)についてお話しします。

令和元年９月２０日に地鎮祭を迎え始まった現場も、１年8ヶ月を経て今月４月末で竣工・引き渡しとなります。お客様とは実施設計に入る約一年前から基本設計を詰めてきました。トータル4年近くのプロジェクトでしたので感慨深いものがあります。



★現場の様子★



★完成が楽しみです★

お客様の思いが詰まった計画は、１～４階の各オフィス階と、５階以降の住居階の間取りが、複雑に異なる形状のため、構造泣かせなものでした(笑)。しかしその思いを形にするため構造担当者の知識と技術によって鉄骨造により実現できました。

それにしても、事務所ビルと共同住宅を一つのビルとして、それを鉄骨造で建てるというのはなかなかの苦労でした。特に建設費用を可能な限り抑えるため、消火設備設置の緩和規定を利用することで、設備費用の削減を考えたのですが、そのために設計上、建築基準法のみならず消防法の基準をクリアしなければならないことが大変でした。

そんな現場も残りあとわずか。今後控えている完了検査が無事に終わること、白水ビルが賃貸満室となることを切に祈るばかりです！(藤田)

★博多国際展示場&カンファレンスセンター★

令和元年６月より工事着工した物件が、今年１月に竣工致しましたのでご紹介させていただきます。

博多国際展示場＆カンファレンスセンターは、多目的なホール・貸会議場からなる4階建ての鉄骨造の建物です。



★外観★

各階の構成は、1階がエントランスホール・駐車場、2階が貸会議室、3・4階が多目的ホールとなります。会議室、多目的ホールは可動式の間仕切りにて分割可能なため、規模の違う催事・展示を多様に行う事ができます。その上で、催事同士の妨げにならない様、高遮音仕様として設計を行いました。



★２階　貸会議室★

また、この展示場の構造は鉄骨造のため、躯体がしなり、振動が響きやすいというデメリットがありました。そのため3階の天井内に免振装置を設置し、上階からの振動を抑える対策を行っております。

この展示場のメインとなるのは4階の天井高6mの多目的ホールです。超大型の貨物用エレベーターを設置し、4tの搬入車両を1階から4階のホール内まで直接乗込み可能となっております。

本文では語りきれない設計上の工夫が沢山盛り込まれた建物ですので、機会があれば実際にご利用いただき、体感していただけたら幸いです。(仲田)



★4階　ホール★

★本妙寺仁王門補強計画★

熊本市にある本妙寺仁王門。大正９年に竣工された鉄筋コンクリート造の楼門です。当時の鉄筋コンクリート造の建物は非常に珍しいため、登録有形文化財となっています。そんな仁王門ですが、平成２８年の熊本地震により被災しました。安全上撤去する案も検討されましたが、住民からの希望により修復の検討を行っています。



★獅子像★

仁王門は伝統的な軒唐破風(のきからはふ)の屋根に加えて、高さのある太い円柱、仁王と獅子の阿吽像、上部空間の吹き抜けなどが特徴的な建築です。本計画では、有形文化財という特性を損なわぬよう、当初の部材を極力残し外観、形状を可能な限り維持することを計画の軸としています。加えて、改修の目的として損傷部を補修し地震に対して安全に補強を行うことを定め、耐震性能も備えた補強計画として検討しています。

施工費のうち3分の2は県の熊本地震復興基金を活用しますが、残る自己負担額は一般から寄付を募られています。歴史ある建物保存のご協力をよろしくお願いいたします。寄付についてのお問合わせは同寺(TEL:096(354)1411)です。(福冨)



★仁王門正面★



★仁王像★

★パソコン？いいえ違います　建設業界のＰＣとは ～株式会社ピーエス三菱様～★

PC建築物の施工を手掛けるピーエス三菱様を紹介します。一般の人にはPCとはパソコンのことかと思われますが、どうやら違うようです。

『弊社はPC技術をわが国で初めて工業化した会社です。今回は、建設業界の「PC」についてご説明します。

私たちの身近にある多くの建物でコンクリートが使用されていますが、コンクリートは引っ張る力にとても弱い性質があります。そのため、ひび割れしやすい部分を鉄筋で補強した鉄筋コンクリートがよく使われていますが、大きな引っ張る力が作用するとひび割れてしまうこともあります。

PC（Prestressed Concrete)とは、「あらかじめ外から力を与えられたコンクリート」のことです。コンクリートが固まったら「PC鋼材」という高強度の緊張材を油圧ジャッキで引っ張り、コンクリートと固定します。するとコンクリートが圧縮され丈夫なプレストレストコンクリートに変身します。圧縮された状態で建物に使用されるので、地震で引っ張る力が作用しても、ひび割れを防ぐことができます。



★ＰＣ（プレストレストコンクリート）★

また、似た言葉でPCa(Precast)という言葉があります。PCaとは、あらかじめ工場で製作した柱梁などのコンクリート部材を、現場に運搬して組み立てる工法のことでPCa(プレキャスト)工法といいます。現場で部材を製作しないため、天候の影響を受けずに、常に高品質のものを安定して供給することが可能です。

PC技術は、コンクリート構造物に優れた耐久性、耐震性をもたらし、材料の省資源化が実現できます。またPCa技術は、工場生産による高品質化をはじめ、現場工事の省力・短工期化を実現でき、環境問題や少子高齢化には不可欠な技術として注目されています。建設中のマンションを見てたら、ある時「もう完成したの！？」と驚いたことはありませんか？もしかしたらPCa工法で建てられたのかもしれないですね。』

PCはさまざまな建築に使用されていて、PCを用いればスレンダーで美しく、丈夫で長持ちする理想的な構造物を造ることができそうですね。(森田)

★傳設計ランチの変遷★

2006年4月に新築した社屋には家庭用のシステムキッチンと打合せ室兼食堂があり、翌年パートさんを採用し週に3回の「ランチ」が始まりました。当時は、毎日遅くまで仕事をするのが常で、食事を疎かにする社員を心配した社長の発案でした。それから10年以上本社の移転まで続きました。

舞鶴移転後は、1階の飲食店とランチの契約をしていましたが、コロナの影響でテナントが撤退。弁当で凌ぎながらランチを作っていただく正社員を募集し、ようやく昨年11月「ランチ」が復活しました。管理栄養士の資格もお持ちで手の込んだおいしい料理を作ってくれます。食堂は大盛況になりましたが、コロナの感染拡大があり対策が必要になりました。外食よりも社内の方が感染リスクが低いだろうと、食堂の席をチームごとに固定し、テーブルも間隔をあけて配置、パーテーションを設置するなど予防を徹底しながら継続していきます。（岩本）



★パーテーションを設置★



★テーブルも離してます★

★舞鶴探訪（８）★

今回は弊社から徒歩5分ほどの場所にございます「でん」さんを紹介いたします。なんと社長も取材の前々日に来ていたとのこと…！

早速カレーと日替わりランチをいただきました。カレーは具材がゴロゴロ入っており、少し辛めで非常においしかったです。また、とんかつ定食は、ブラックペッパー入りの自家製のソースがごはんと相性抜群です。サクサクのとんかつは食べやすい大きさに切られており、気づいたら完食していました。どちらも700円とお手頃価格でサラダとお味噌汁付き！ボリュームがあり、とても大満足でした。月～金で日替わりとのことなので全制覇したいです。

大変人気なお店なので、ランチは売り切れてしまうこともあるとのこと。また夜は、ごはんと一緒にお酒を愉しむことができます。舞鶴にお越しの際はぜひ。（真弓・平野）



★とんかつ定食とカレーライス★

＜お店情報＞
でん
福岡市中央区舞鶴
1-9-13
092-733-8433

社員名鑑 vol.38

編集後記／／／4月になり、新年度がスタートしました。この時期といえば、花粉症ですね。弊社にも花粉症持ちの社員がいるようで、この時期は大変そうです。食生活の乱れや睡眠不足などで免疫バランスが崩れ、症状がひどくなる場合もあるようです。花粉症の方は特に規則正しい生活を心掛けていきましょう！　／アンケートを同封しておりますので、ニュースレターのご意見、ご感想をお聞かせいただけましたら、幸いでございます。（服部）

「想い・安全・未来をカタチに」
株式会社 傳設計
DEN ARCH.& ENG.OFFICE

ADD:〒810-0073
福岡市中央区舞鶴1-6-13　舞鶴DSビル
TEL:092-737-1500（代表）
FAX:092-737-1501

